

令和5年度 第2回 特別区長会調査研究機構理事会 日程

(日時) 令和5年9月14日(木) 役員会終了後
(場所) 東京区政会館 19階 192会議室

- 1 第3回調査研究報告会の実施結果について (機構事務局長)
- 2 令和5年度調査研究事業の進捗状況について (機構事務局長)
- 3 令和6年度新規調査研究テーマについて (機構事務局長)
- 4 今後のスケジュールについて (機構事務局長)
- 5 その他

第3回調査研究報告会の実施結果について

令和4年度に実施した調査研究6テーマに関する第3回調査研究報告会を下記のとおり開催した。

なお、8月初旬より、各報告の様子ダイジェスト動画をYOUTUBEにより配信している。

記

- 1 開催日 令和5年7月6日（木）
- 2 会場 東京区政会館20階
- 3 報告テーマ数 6テーマ
- 4 聴講者数 延べ387人（区職員等263人、研究者等124人）
- 5 オンライン配信視聴回数 629回（令和5年8月31日現在）

令和 5 年 9 月 1 4 日
特別区長会調査研究機構
令和 5 年度第 2 回理事会

令和 6 年度新規調査研究テーマについて

	区名	テーマ名・研究のねらい
1	港	<p>区民等の理解と共感を醸成するための情報発信のあり方</p> <p>区から区民等へ発信する情報は、正確性を重視するあまり、行政特有の専門用語の多用や多種多様な情報の内在によって、区の意図が正確に受け取られず、区民等が適切なサービスを利用することができないなどの状況が生じている。こうした状況が続けば、区と区民等との信頼の失墜や区民等の区政への関心の低下にもつながりかねない。</p> <p>本研究は、<u>様々な情報発信媒体の特性も踏まえながら、年齢等の対象者の属性に着目した情報発信媒体の選択や、提供する情報への理解と共感を醸成する表現手法の工夫などについて研究することにより、区民等と信頼関係を深め、円滑なコミュニケーションを図る一助となる手法等を考察するものである。</u></p>
2	大田	<p>生活保護受給者の日常生活上の支援の現状と今後の課題</p> <p>全国では、生活保護申請者の増加傾向が続いており、今後、特別区においても生活保護受給者の増加が想定され、福祉事務所の現場では、地域生活上の様々な課題への対応の必要性も増している。また、支援にあたっての社会的資源である保護施設をめぐっては、更生施設の建替え後は救護施設として運用する方向性が出される一方、日常生活支援住居施設の制度が導入され、その有用性も確認されている。</p> <p>本研究は、<u>①被保護世帯の動向、②生活保護を取り巻く動き、③既存の社会資源における支援の現状等を調査すると共に、被保護世帯の現状と保護施設等において提供されている日常生活支援を比較・研究し、社会資源との関わり方や今後の世帯属性、社会的変化を踏まえつつ、特別区における日常生活支援の充実に向けた方策等を考察するものである。</u></p>

	区名	テーマ名・研究のねらい
3	大田	特別区における老朽マンション対策の推進
		<p>東京都の「東京マンション管理・再生促進計画」(令和4年3月)によれば、特別区内には約4万3千棟以上の分譲マンションがあり、10年後には、築50年の更新時期を迎えるマンションが約1万2千棟以上となる見込みである。これらのマンションの中には、管理組合が無い、積立金や修繕が不十分であるなど、管理不全の兆候があるマンションだけではなく、外壁が剥がれ落ちるなど、既に管理不全であることにより周辺環境に深刻な影響を与えかねないマンションも含まれている。</p> <p>本研究は、<u>老朽マンション対策推進のため、先進自治体の取り組み事例などの調査及び特別区の特性を生かした施策展開の可能性を研究し、安心・安全なまちづくりに向けたマンションの適正管理・建替え・長寿命化等、多面的な住居環境の整備手法等を考察するものである。</u></p>
4	葛飾	生成AIを活用した特別区におけるDXの推進
		<p>今般、ChatGPTに代表される生成AIの技術進歩は目覚ましく、自治体においても内部業務の効率化、効果向上のために文書案作成や文書要約などに実用化され始めている一方で、さらなる有効活用について模索を続けている。</p> <p>現時点での活用モデルの多くは、内部的な業務の改善という域を出ていないが、今後の研究開発の進展により、幅広い業務の課題解決に向けて生成AIの活用を拡大することで、より一層の区民サービス向上につなげることも可能になると想定される。</p> <p>本研究は、<u>特別区におけるDXの推進に資するため、様々な業務課題に対する生成AIの活用策について、実務者の視点からの具体的方策等について考察するものである。</u></p>